



大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第71号
2020年12月4日発行

《各地区からのお便り》


今回の原稿は、名瀬西部ブロック・大和村です。「支援室だより」もいただきました。10名いる支援室で、コロナ対策（蜜を防ぐ）をしている支援室の様子（写真）もあり参考になりますね。

奄美市名瀬西部地区学校事務支援室

こんにちは。奄美市名瀬西部地区学校事務支援室です。本支援室は、月2回程度、執務室のある金久中学校で業務を行っています。

これまでは事務室で実施していたのですが、4月以降は金久中のご厚意でソーシャルディスタンスを保てる部屋を利用させていただいています。構成メンバーは10名で、全員が2校目経験以上の中堅事務職員です（小学校5校、中学3校、小中併設校1校）。連携校が多く、県費職員を200人程抱えており、特に4月は認定が集中します。そのため昨年度から「正確で迅速な認定作業の仕方」について案を出し合い、試行錯誤を重ねています。事例発表レポートにも書きましたが、今後も全員でより良い形を模索していくつもりです。その他の活動として、年2回の物品共同購入、年4回の自主検査補助、年3回の支援室だよりの発行を行っています。支援室は和やかで楽しく気兼ねない意見交換ができる雰囲気です。これからもメンバー全員一丸となって頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。



 ソーシャルディスタンスのため
全員写っておりません

大和村事務職員会

みなさん、こんにちは。大和村事務職員会です。大和村は、奄美大島中央部に位置し、「すもも」や「たんかん」などの果樹栽培が盛んです。最近では、大河ドラマ「西郷どん」のロケ地となった「宮古崎」もあることから、以前より観光客が訪れるようになりました。

大和村には小学校5校（うち1校は休校）、中学校1校があり、3名の事務職員が配置されています。

大和村事務職員会では、学校事務初心者でも業務を円滑に進められるよう、事務職員相互の支援強化、特に初任者への支援に力を入れて活動しています。主な活動内容として、折々の事務内容の確認や質疑応答の時間を設ける、旅費請求書や諸手当認定書類の確認など初任者でも安心して業務を進められるようにしています。また、隔月で事務支援室だより「じんむん」を発行し、大和村の教職員へ情報を発信しています。その時期に必要な事務手続きの情報や、各学校で広報誌に取り上げてほしいと言われた内容などを分かりやすく伝えられるよう工夫しています。提供する情報を分担して調べることで、事務職員としてのスキルアップも図れています。

今後は、村費事務マニュアルの見直しなど、既存事務の効率化を進めることや、自分たちにできることから少しずつ学校運営にも協力していきたいと考えています。

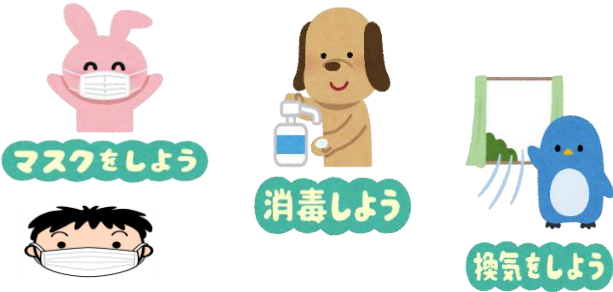
（文責 大和村立大和中学校 西竹 菜瑠美）

宮古崎





11月下旬まで暑く感じた奄美群島も寒くなってきましたね。全国ではコロナの第3波が来ているといわれております。消毒、換気等をこまめに行いながらソーシャルディスタンスで新年を迎えたいですね。



続いて新規採用者の声です。1年目と2年目の方からいただきましたのでどうぞご覧ください。

新規採用者の声

奄美市立緑が丘小学校
川畑亮弥

今年度から新規採用で緑が丘小学校へ赴任してきました川畑亮弥と申します。

赴任してきて1ヶ月の経過が今までより早く感じるのは多くの初めての経験があったからなのではないかと思えます。当初は離島での勤務で何も分からないまま仕事をするということで不安が大きかったのですが、支援室の先生方が学校に足を運んでくださったり電話で何度も教えてくださったりして乗り切ることが出来ました。今思うと、年度初めは手当認定事務でお忙しい中、私の方にも気を回して下さって感謝の気持ちでいっぱいです。

緑が丘小学校は自然に囲まれており、とても落ち着く環境で、職員児童共にわきあいあいと日々過ごしています。このような居心地の良い中で事務職員として仕事が出来るとはとても恵まれているなと感じます。私自身も、緑が丘小学校の職員児童、また笠利地区の事務の先輩方のお力になれるように日々様々な事を学んで、努力していきたいと思えます。どうぞこれからよろしくお願ひします。



瀬戸内町立与路小中学校
浅井 公太

皆さん、こんにちは。この度瀬戸内町の与路小中学校と池地小学校に着任しました浅井公太と申します。昨年度の4月に着任してから早いもので1年半が過ぎました。着任当初は、初めての離島での生活に加え、海を越えての2つの学校での兼務ということもあり、本務校と兼務校の業務を並行して適切に行うことができるのか不安でいっぱいでした。しかし、与路小中や池地小の先生方をはじめ、瀬戸内町事務支援室の先生方にご指導や助言をいただきながら業務を行うことができました。

私は採用される前までも大隅で期限付きの事務職員として4年ほど勤務の経験があったため、学校事務職員の1年を通しての業務の流れや内容を多少は理解できていました。しかし、地区が異なることで事務処理や学校・地域の行事において初めて経験することも多く学校事務職員の業務の難しさや楽しさを改めて感じました。まだまだ業務において不慣れなこともたくさんありますが、1つ1つ身に付けて学校の一員として子どもたちの楽しい学校生活を支えて行けるように努力したいと思います。

【第2回理事会報告】

10月28日に理事会がありました。

〈今後の日程〉

2月12日 市町村代表者連絡会・第3回理事会

2月19日 大事協だより72号発行予定

(編集(伊仙町) 原稿(天城町・和泊町))

2月下旬 県事協マニュアル各地区へ発送予定

3月上旬 県事協第4回評議員会

〈令和3年度大事協研究事例発表地区〉

・大和村 ・宇検村

名瀬西部ブロック・瀬戸内町の事務研レポートへの質疑意見等ありがとうございました。両地区に還流報告をお願いしています。もうしばらくお時間下さい。

新型コロナウイルス感染症対策において、いろいろなことを我慢することが多い年でした。せっかく時間をかけて作成して下さったレポートも紙上発表となり、全員で顔合わせできないまま新年を迎えることになりましたが、大島地区事務職員による事務職員のための事務職員協会であるために執行部一同尽力いたしますので、なにかあればご連絡いただければと思っています。71号の原稿を下された名瀬西部・大和村・新規採用者の声を聴かせて下さった先生方ありがとうございました。

